

9月4日（木）5年 社会科 ラジオ番組作りその1

9月4日に、地域の家具職人でFMヤマトの番組「そらつばし」でパーソナリティをされている湯淺様に、社会科でラジオ番組作りを教えてくださいました。

まず、ラジオの歴史を教えてください、今のテレビの番組も、ほとんどが、ラジオ番組がもとになっていることを知りました。その後、実際に、ラジオ番組を聞かせていただき、その台本を見せていただきました。

ラジオの良さは、主に「声だけ」という点にあります。たとえば、料理や仕事、通学中など、何か別の作業をしながらでもラジオを聴くことが可能です。この手軽さから、ラジオは近年見直されています。また、インターネットの普及により、ラジオの可能性は大きく広がりました。国内だけでなく海外でも番組を聴けるようになり、自分が好きな放送局の番組を世界中で楽しめます。さらに、ポッドキャストという形で、誰もが自分の番組を持てるようになりました。これにより、個人が発信した情報が世界中の人々に届けられるようになっています。ラジオは、自分が知らない世界や人に出会える場でもあります。興味のあるキーワードを検索して聴くだけでなく、たまたま耳にした情報番組から、これまで知らなかった事柄や、自分とは異なる考え方を持つ人々の話を知るきっかけにもなります。こうした出会いは、新しい挑戦への一歩にもつながると教えてくださいました。次は、いよいよ実際に、番組作りをします。とても楽しみです。

